

沖縄の在日米軍専用施設について（概数による試算）

	H . 18 . 1.1	ロードマップ	その他の事案	完了後
本土（ha）	7,919	18	221	7,680
沖縄（ha）	23,302	（895 + ）	4,745	17,662 -
全国合計（ha）	31,221	（913 + ）	4,966	25,342 -
沖縄の全国 比率	約 75 %			約 70 %

注：「 」はキャンプ・瑞慶覧の返還部分（減）普天間飛行場及び那覇港湾施設代替面積（増）を加算したもの（今後、具体的な計画を策定する中で面積を決定するため「 」とした）

注：完了後の「約70%」は「 」を±0とした場合の値。「 」が増加するにしたがって、「沖縄の比率」は低下する。

注：その他の事案は、本土は神奈川県関係の返還事案（減）及び岩国の沖合移転分（増）
沖縄では、23事案及びS A C O事案の未返還分

注：上記資料は笠井亮衆院議員の要求で防衛施設庁が提出した資料である。
（各施設別の面積は次ページを参照）

ロードマップ・その他の事案の実施による在日米軍基地の変化について

防衛施設庁提出の資料（沖縄の在日米軍専用施設について / 概数による試算）について、笠井亮衆院議員事務所が防衛施設庁に対して追加の聞き取り（各基地別の面積）を行った内容は下記のとおり。

ロードマップ実施（ 本土分 マイナス 18 ha ）

座間基地の返還	(1 ha)
相模補給廠返還	(17 ha)

ロードマップ実施（ 沖縄分 マイナス 895 ha ）

キャンプ桑江 (68 ha)	普天間飛行場 (481 ha)	牧港補給地区 (274 ha)
那覇港湾施設 (56 ha)	陸軍貯油施設・第1桑江タンクファーム (16 ha)	

その他の事案（ 本土分 マイナス 221 ha ）

- ・岩国基地の再編による沖合移設増設分 (145 ha)

岩国飛行場の沖合移転の総面積は、これまでに沖合移設工事が完了した面積 (67ha) を含め (213 ha) である。
(数字は端数切捨てのため ± が一致しない)

- ・神奈川関連（マイマス分）

上瀬谷通信施設	(242 ha)
深谷通信所	(77 ha)
富岡倉庫	(3 ha)
根岸住宅地区	(43 ha)
池子住宅地区	(1 ha)

神奈川合計 (366 ha)

その他の事案（ 沖縄分 マイナス 4,745 ha ）

- ・SACO分 ロードマップのダブリ分以外 (4,435 ha)
- ・23事案分の残り
 - ・キャンプ・瑞慶覧 (47 ha)
 - ・キャンプ・ハンセン (162 ha)
 - ・嘉手納弾薬庫地区 (101 ha)

以上

ロードマップの実施による米軍基地面積の変化

ロードマップ実施で返還される施設の面積

返還予定面積

(ロードマップで全面返還)

・キャンプ桑江	(68 ha)
・普天間飛行場	(481 ha)
・牧港補給地区	(274 ha)
・那覇港湾施設	(56 ha)
・陸軍貯油施設(第1桑江タンクファーム)	(16 ha)
・キャンプ・瑞慶覧(現在面積/643 ha)	(未定)

返還面積沖縄分合計 (895 ha)

・相模補給廠・座間基地関連の返還面積	(18 ha)
--------------------	-----------

返還面積全国の総合計 (913 ha)

ロードマップ実施によって新たに建設される施設(予定面積)

・普天間飛行場	新施設面積 (180 ha)	・・・おおよその予測
	うち埋め立て面積 (140 ha)	陸上面積 (40 ha)

・那覇港湾施設	那覇軍港のSACOに基づく代替面積 (35 ha)	
	追加的な集積場面積 (14 ha)	
	集積場面積(14 ha)は平成7年の那覇港湾施設移設合意の時に キャンプ・キンザーに設置することを日米が前提として約束して いた面積	

沖縄の増設面積合計 (189 ha)

ロードマップ実施による米軍専用面積の全国と沖縄比較面積)

(面積の増減は、の赤字ゴシック分を計算する。)			
現在の米軍専用面積	全国	(31,221 ha)	
	沖縄	(23,302 ha)	沖縄の全国比 (74.6 %)
ロードマップ実施後の米軍専用面積	全国	(30,497 ha)	
	沖縄	(22,596 ha)	沖縄の全国比 (74.1 %)

参考

増加分(普天間代替施設、那覇港湾施設を含まないで計算した場合
全国分(30,380 ha)沖縄分(22,407 ha)で73.8%となる。